

公表資料

平成25年9月3日

件名	9月1日発生 吉井川水系王子川での魚のへい死について 河川水の分析結果
----	--

同時資料提供先

岡山県県政記者クラブ

問い合わせ先

岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局
中国地方整備局 岡山河川事務所
電話 086-223-5196 (防災情報課直通)

【担当者】 副所長(調査) 川島 明昌 (内線205)
防災情報課長 沖田 宏之 (内線281)

なお、水質の分析結果に関する問い合わせ先は以下にお願いします。

岡山県環境文化部 環境管理課
電話 086-226-7301 (直通)

【担当者】 白髪、中力

「9月1日発生 吉井川水系王子川での魚のへい死」に関して 現地で採水した河川水の分析結果をお知らせします

9月1日（日）吉井川水系王子川（和気郡和気町）で魚のへい死が見つかった際に採水した河川水は、岡山県が行った農薬判定において「ドリン系農薬」が検出されていました。検出されたドリン系農薬について分析し、農薬の種類については「エンドリン」と判明しました。

採水場所・時刻毎の濃度については以下のとおりです。

分析結果

・9月1日採水分

採水時刻	採水場所	エンドリン濃度（ $\mu\text{g} \times / \text{L}$ ）
① 11：00	横井堰（王子川）	0.48
② 12：30	加部橋（王子川）	0.40
③ 15：40	加部橋（王子川）	0.12

・9月2日採水分

採水時刻	採水場所	エンドリン濃度（ $\mu\text{g} / \text{L}$ ）
① 16：23	加部橋（王子川）	0.01
② 16：46	王子川大橋（王子川）	0.01
③ 16：50	父井原（フイハラ）字小原 （吉井川）	<0.01 ……0.01 未満（測定可能限界以下）
④ 17：20	新田原井堰（吉井川）	<0.01 “

※ μg ： g （ g ）の百万分の1

分析機関：岡山県環境保健センター

参考：エンドリンの魚類致死量（急性毒性： LC_{50} （半数致死濃度））

最小 $0.12 \mu\text{g/L}$ （カダヤシ※） 最大 $0.95 \mu\text{g/L}$ （フナ）

※カダヤシ：成長すると3～5 cm程度の魚（外来種）

なお、環境省「農薬等に関する環境管理指針値」によるとエンドリンの「環境水中濃度指針値」は $0.53 \mu\text{g/L}$ となっている。

環境管理指針値は人の一日摂取許容量に基づき算定

一日摂取許容量は $0.2 \mu\text{g/kg}$ 体重【体重 50kg の場合は $10 \mu\text{g}$ に相当】

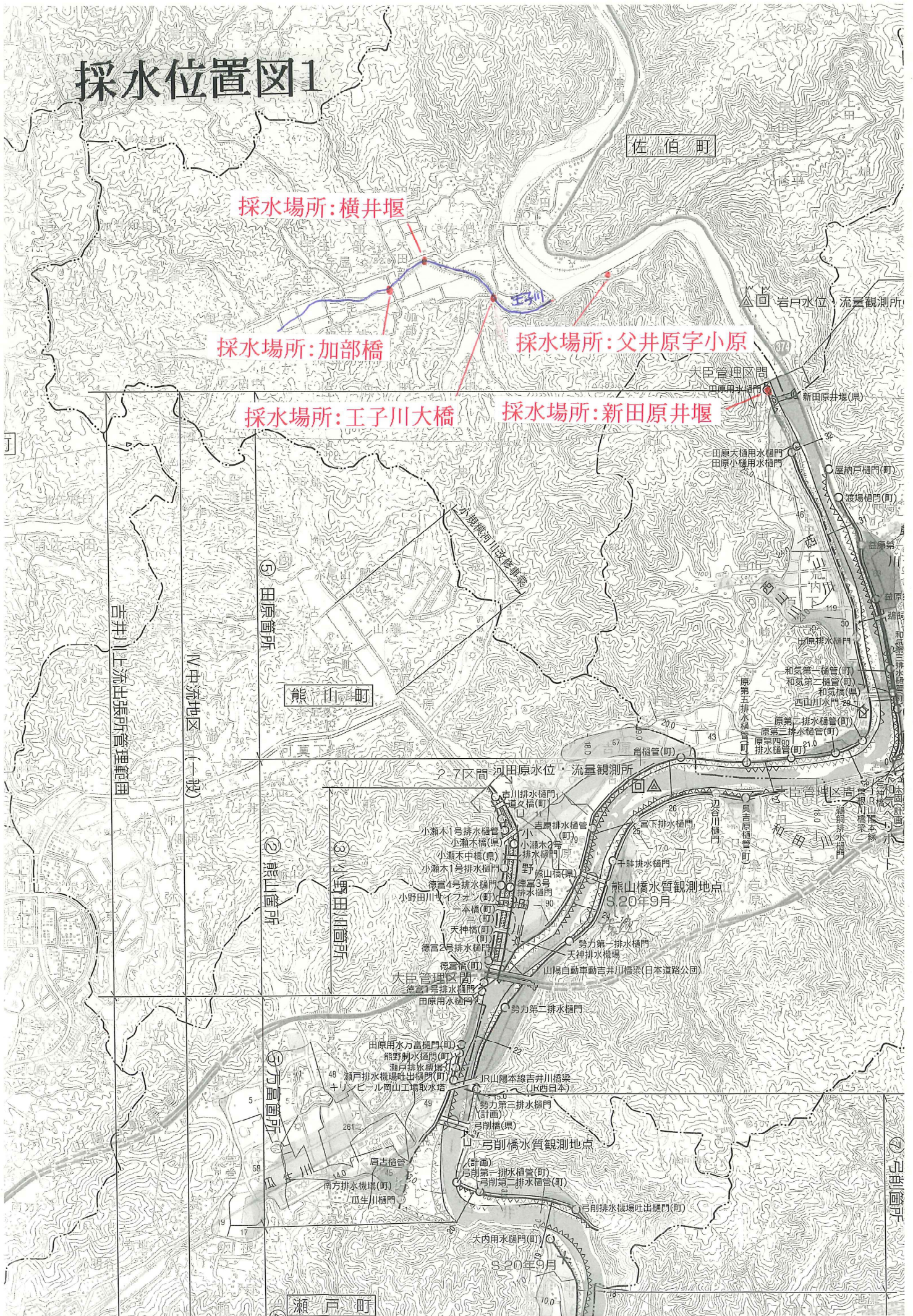
上記より、9月1日に発生した魚へい死の原因は、エンドリンによる可能性が高いと推定されます。

9月1日の最高濃度も「農薬等に関する環境管理指針値」を下回っており、継続して現場の水を飲料に用いる可能性も低く、また、9月2日に採水した河川水のエンドリン濃度は十分に低いことから、人の健康には問題ない値です。

今後の対応について

今回の発表をもって、本件における岡山三川水質汚濁防止連絡協議会としての資料の公表は終了とします。

採水位置図1



採水位置図2

